

## この本の使い方 ▶教師の方へ

### この本の目的

- ▶本書は、CEFR／日本語教育の参照枠 B1 ～ B2 レベルの学習者を対象としています。
- ▶社会生活で不可欠な読む力・聞く力を発展させ、さらに B2 レベルへと進む際に求められる、考える力（論理的思考力）を養うことを目標としています。
  - 📖 ここでの考える力とは、情報を受け取るだけでなく、別の視点から考えたり、自らの思考に落とし込んで深める力のことです。

### 構成とトピック

- ▶本書は「読む×考える（読解）」と「聞く×考える（聴解）」の2パートで構成されています。
- ▶各パートに1から40のトピックがあり、同じ番号はペアになっています。2技能で関連した話題を扱うことで、読む・聞く力を伸ばしつつ、多角的に考える力も養います。
  - 📖 1技能のみでも使用できますが、並行して進めるとより効果的です。
- ▶40のトピックは「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の5つのジャンルからなります。
  - 📖 日本語教育の参照枠「読むこと」「聞くこと」の B2 以上で挙げられているトピックを中心に、幅広く選定しました。
  - 📖 どのジャンルも、前半は易しく、後半は難くなる構成ですが、各設問は独立したモジュール形式のため、どこから始めても問題ありません。

### 問題の形式

1つのトピックにつき、LEVEL 1～3の3段階の問題があります。

段階	目標	解答形式
LEVEL 1（内容確認）	文章や音声の基本的な内容を確認する	選択・○×・短答など
LEVEL 2（応用）	内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察をする	選択・短答など／記述 ※トピックによって異なる
LEVEL 3（発展）	内容に関連して、自分の考え・意見を述べる	記述

### 記述問題について

- ▶LEVEL 2・LEVEL 3の記述問題は、決まった正解がありません。学習者の自由な発想を引き出してください。
- ▶各種語学試験の形式に慣れた学習者の場合、正解がない問題に戸惑いを感じるケースもあります。「試験問題ではない」「自由な発想で答えてよい」ということを適宜伝えてください。

- ▶ クラスで実施する場合は、ペア・グループで話し合っ進めたり、発表形式のフィードバックを取り入れることも効果的です。さまざまな解答が考えられるため、対話を通じてより活発な授業となることが期待されます。

## 思考のロジック

LEVEL2・LEVEL3には「思考のロジック」がついています。解答への道筋や、アイデアを展開するヒントを示すものです。

- ▶ 設問を解く前に確認し、解答にたどり着けない場合や、論理展開が不十分である場合は、適宜振り返りを促してください。
- ▶ ロジックは論理展開の一例です。根拠が明確であれば他のアプローチで解答しても問題ありません。

## 学習の進め方

「読む×考える」と「聞く×考える」の進め方は同じです。

※初回は「この本の使い方（学習者の方へ）」に沿って、本書の目的と構成を説明します。

- ① 読む／聞く前に、タイトル、ページレイアウトやデザイン、イラストなどから、話題を予測するよう促します。

- ▶ 特別な導入や問いかけはなくても構いません。
- ▶ 場面設定や背景事情などが理解しにくい場合は、適宜補足してください。

- ② 「読む時間」／「聞く時間」を確認します。

- ③ ①を目安に、文章／音声の内容を確認します。（設問を解く時間は別です。）

- ▶ 音声の理解が難しい場合は、2～3回聞いたり、ゆっくりの速度で再生してもかまいません。

- ④ LEVEL 1の設問に取り組みます。

- ⑤ LEVEL 2の設問と「思考のロジック」を読んで、考え方を確認してから、問題に取り組みます。

- ⑥ LEVEL 3の設問と「思考のロジック」を読んで、考えや意見の組み立て方を整理してから、問題に取り組みます。

※記述問題以外の解答は、各パートの最後に掲載しています。

※記述問題は決まった正解がありませんが「解答例／解答のポイント」をWebサイトで確認できます。

## 授業の構成例

下記は一例です。状況や指導方針に応じて、時間を変更したり、発展活動を追加するなど、自由にお使いいただけます。

●授業時間目安：1課（読解または聴解のどちらか1つ）あたり 30 ～ 45 分

項目	時間	備考
(導入)	(5 分)	●特別な導入はなくてもよい
内容確認	2 ～ 5 分	●状況に応じて、辞書等の使用を許可してもよい
LEVEL 1	問題 5 分 フィードバック 5 分	
LEVEL 2	問題 5 分 フィードバック 5 ～ 10 分	●ペア、グループワークでも可 ●フィードバックは発表形式でも可
LEVEL 3	問題 5 分 フィードバック 5 ～ 10 分	●ペア、グループワークでも可 ●フィードバックは発表形式でも可

## 評価について

- ▶ 本書全体を通して、言語活動「読むこと」「聞くこと」の日本語教育の参照枠 B2 レベル 到達を目指しています。授業設計時は日本語教育の参照枠を指針としてください。
- ▶ 各設問の厳密な採点や添削は必須ではありませんが、必要な場合は下記を参考にしてください。Web サイトにある「解答例／解答のポイント」もご参照ください。
  - LEVEL 1・2（選択・〇×・短答）：明確な正答があります。根拠は文章や音声の中に示されています。
  - LEVEL 2（記述）：本文の内容をもとに考察する問題です。解答根拠の妥当性、論理展開の明確さ等を検討、評価してください。
  - LEVEL 3（記述）：本文に関連して自由に発想する問題です。論理展開の明確さ、主張と理由の一貫性、多角的視点の有無等を検討、評価してください。

### 音声・解答例のダウンロード

以下のファイルは、Web サイトからダウンロードできます。

- 「聞く×考える」の音声（ふつうの速度／ゆっくりの速度（0.8 倍速））
- 「聞く×考える」の音声スクリプト
- 記述問題の解答例／解答のポイント

<http://ask-books.com/yomukiku/>



\* ご利用には、この本の一番最後のページの情報が必要です。